

薬剤部だより No.203



山口大学病院薬剤部 2006.12.15

12月29日からケタラール注は麻薬入力画面からオーダーしてください

薬剤部だよりで再々お知らせしていますように、2007年1月1日からケタラール注が麻薬になります。それに伴い、ケタラール注は12月29日から麻薬入力画面からのオーダーに切り替えます。麻薬処方箋が印刷されますが、12月31日までは普通薬ですのでボックスコンベアーも利用できます。2007年1月1日からは麻薬の扱いになりますので署名・押印、施用簿の記載など忘れないようご注意ください。また、手術部カートのケタラールは廃止します。

日赤ポリグロブリン N 注5%が経済的です

日赤ポリグロブリン N 注5%は、現在当院採用の人免疫グロブリン製剤(献血ヴェノグロブリンIH-ヨシトミ、献血グロベニンI-ニチャク、献血ベニロンI)に比べ、薬価ベースで2.5gあたり最大約¥5,000安くなっています。また、大量使用の場合は5g製剤を使用するとさらに経済的です。オーダーはできませんので手書き処方での対応にはなりますが、経済効率を考慮し、こちらの製剤の使用をお勧めします。ただし、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎、ギランバレー症候群には適応がありませんので、現行のものをご使用ください。

非イオン性造影剤の年間購入金額は1億5千万円

当院採用の非イオン性造影剤は現在7製品(5メーカー)あり、年間で約1億5千万円購入されています。

麻薬免許証の期限切れにご注意ください

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌年の12月31日までです。来年は「宇-18」、「宇-19」以外は全て無効となります。今一度ご確認ください。

販売中止のご案内

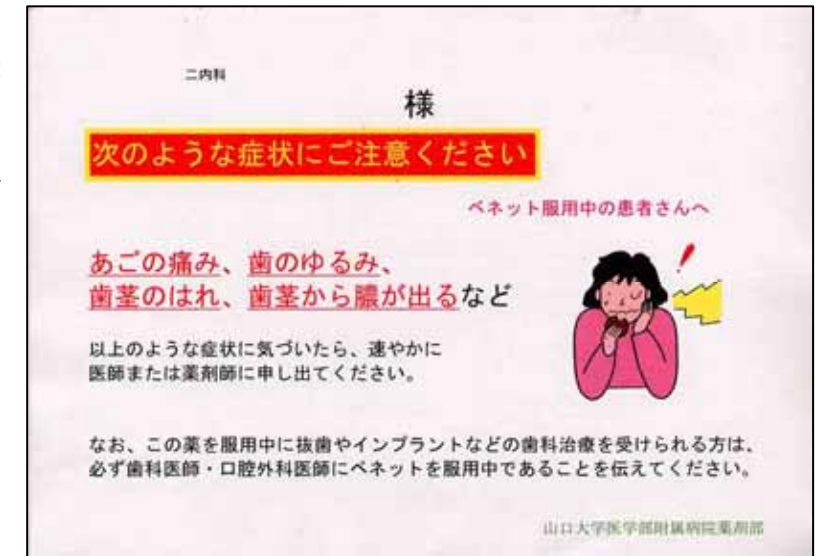
この度、選択的抗トロンピン剤ノバスタン注の販売が中止となりました。当院の在庫が無くなり次第、常備薬より削除となります。

削除薬のお知らせ

ヒベルナ散は、常備薬より削除されました。それに伴い、ヒベルナ錠の粉碎化が可能となっています。粉碎後は湿気に弱いため保管にご注意ください。

ベネット錠、ボナロン錠服用中の患者さんへの副作用情報提供を開始しました

ベネット錠、ボナロン錠などビスフォスフォネート系薬剤による治療を受けている患者さんにおいて、顎骨壊死・顎骨髄炎が報告されました。これに伴い、12月1日からベネット錠、ボナロン錠服用中の患者さんに上記副作用の初期症状について注意喚起のためのカラーイラスト入り説明文書の提供を開始しました。



年末年始の薬取り扱いについて

年末年始(12/28(木)17:30~1/4(木)8:30)に使用する薬剤の請求は下記の通りとなっております。

【内服・外用薬:調剤室(2669)】

年末年始に投与予定の処方箋は12/28(木)17:30までにオーダーしてください。上記期間中は、処方箋はすべて手許出力となりますので、正の処方箋を薬剤部へ送付してください。なお、時間外は薬剤部のシステムが稼動していないため、薬品説明文書提供、自動錠剤分包は行うことができませんので、ご了承ください。

【注射薬:注射調剤室(2724)】

入院予定注射

実施日	入力締切日	交付日
12/28(木)~ 12/31(日)	12/27(水)の各診療科の締切時間まで (但し、午後の締切時間は13:00)	12/27(水)
1/1(月)~ 1/4(木)	12/28(木)の各診療科の締切時間まで (但し、午後の締切時間は13:00)	12/28(木)

休日及び平日時間外はまず病棟在庫にて対応してください。その際必ずオーダー時に 付記してください(分の薬剤は通常通り、翌日にストック使用分として病棟へ送付します)。

本年も大変お世話になりました。
皆様どうぞ良いお年をお迎え下さい。

薬剤部一同